

KUPC2018 - L

凸包が映し出される平面

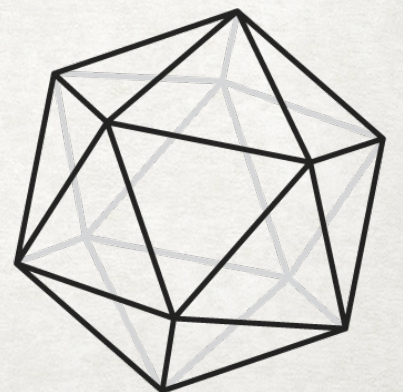
原案: asi1024

解説: drafear



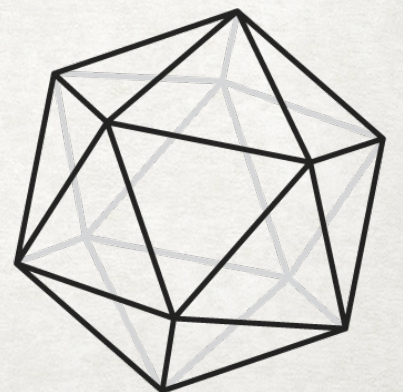
問題概要

- 3次元上の N 点が与えられる
- 原点を通る平面 F を選ぶ
- 各点から F への垂線の足たちが作る凸包の面積を最大化したい
- (また、そのような平面は何通りあるか)

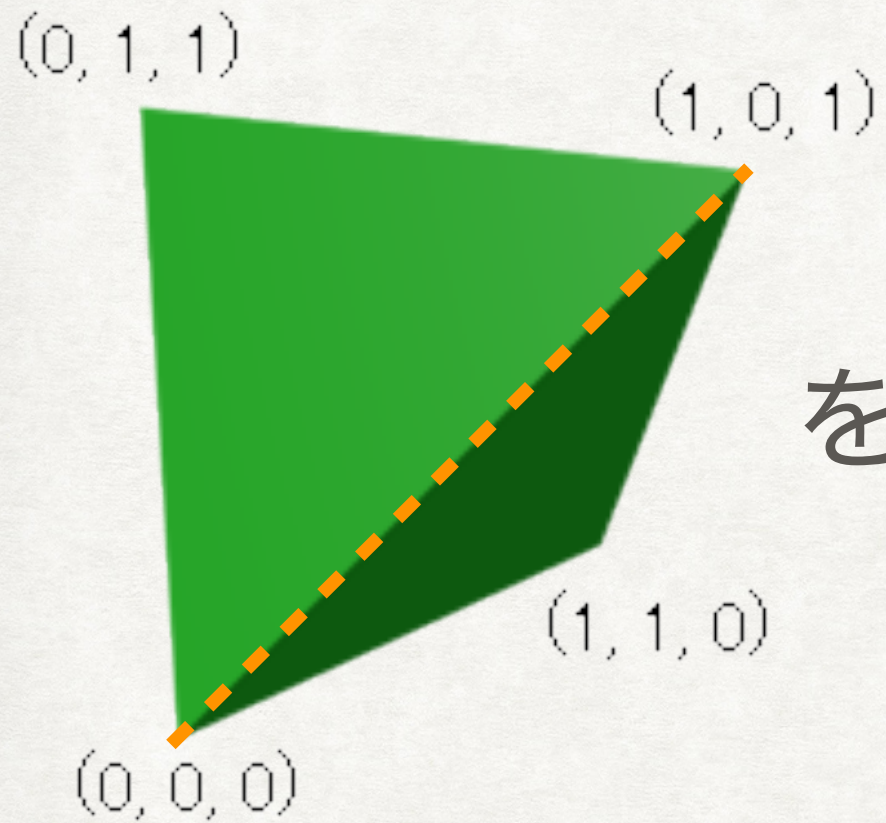


考察

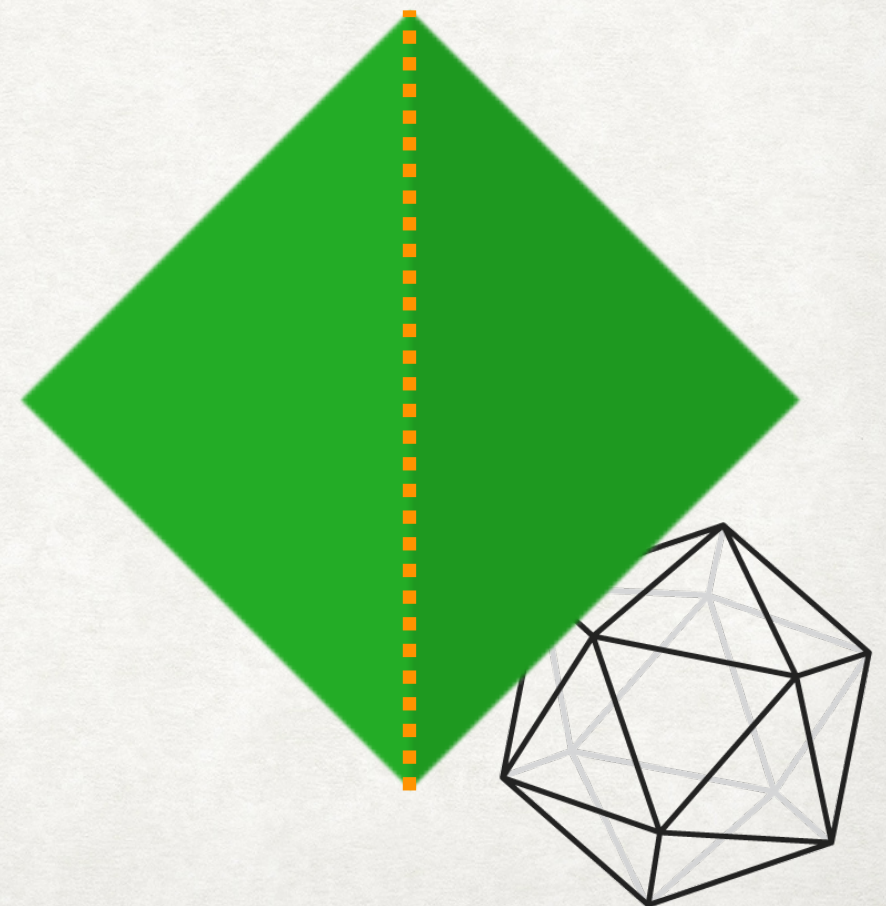
- N点からなる3次元凸包を作ってみる
- すると、F上にできる凸包は…
 - Fの法線方向から見たときの2次元図形になる



例 (入力例2)



をこの方向から見たとき ↓ が最大

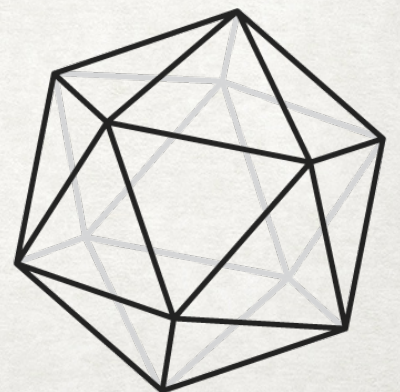


考察

- すなわち面積は…
 - 3次元凸包の各面 F_i について
面積と同じ長さかつ外向きの法線ベクトルを \mathbf{n}_i とする
 - 選んだ平面 F の単位法線ベクトルを \mathbf{v} とする
 - \mathbf{v} の方向に見て
表に見える面: $f_i = -1$
裏に見える面: $f_i = 1$

- このとき

$$S = \frac{1}{2} \sum_i \mathbf{v} \cdot (f_i \mathbf{n}_i)$$



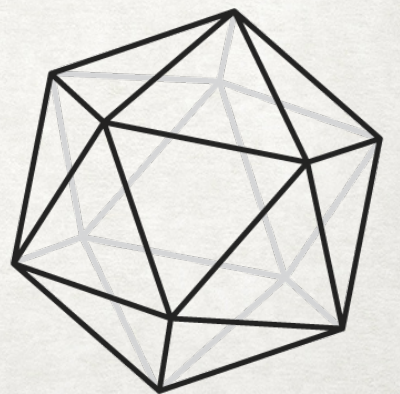
考察

$$S = \frac{1}{2} \sum_i \boldsymbol{v} \cdot (f_i \boldsymbol{n}_i) = \frac{1}{2} \boldsymbol{v} \cdot \left(\sum_i f_i \boldsymbol{n}_i \right)$$

なので逆に f_i を決めれば S を最大にする単位ベクトル \boldsymbol{v} は

$$\sum_i f_i \boldsymbol{v}_i \text{ と同じ方向 } (\cos \theta = 1)$$

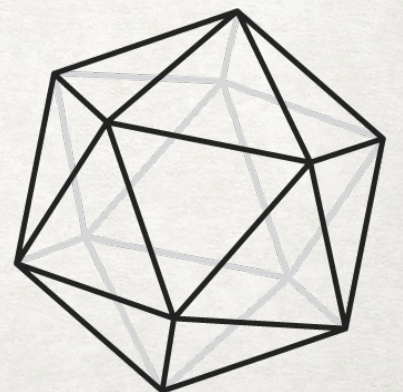
$$S = \frac{1}{2} |\boldsymbol{v}| \left| \sum_i f_i \boldsymbol{n}_i \right| \cos \theta = \frac{1}{2} \left| \sum_i f_i \boldsymbol{n}_i \right|$$



想定解

1. 3次元凸包Pを求める ($N \leq 60$ なので雑でOK)
2. あり得る f_i の組を求める
3. 各 f_i の組に対して最適な v をとれば面積 S は

$$S = \frac{1}{2} \left| \sum_i f_i \mathbf{n}_i \right|$$



あり得る f_i の組を求める

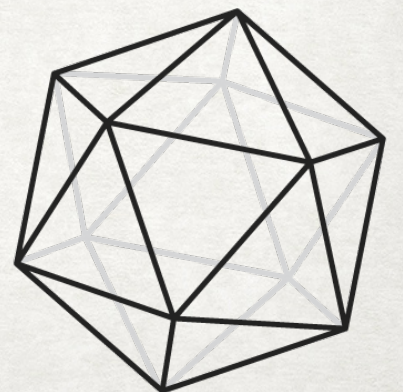
- 前提:

あり得ない f_i の組を選んでも

Sが答えより真に小さくなるので問題ない

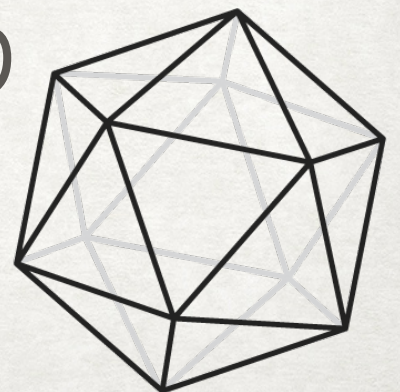
- TLE解:

f_i を全探索する $\rightarrow O(2^k)$ (k は面の数)



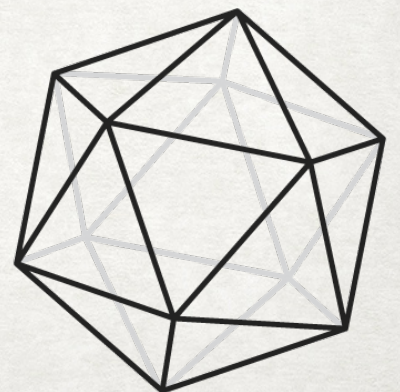
あり得る f_i の組を求める

- 面 F_i と面 F_j の表裏だけが切り替わる境界を考える
 - $v' = F_i \times F_j$ (外積) から見た方向が境界
 - v' から見たときの他の面の裏表をそのままに
面 F_i, F_j の裏表を全探索する:
 - (表, 表) (裏, 表)
 - (表, 裏) (裏, 裏)
 - $v' = F_{i'} \times F_{j'}$ と境界が同じになる (i', j') が
複数(m 個)あった場合 2^m 通り試す必要あり
 - TLE



満点解法

- 面 F_i と面 F_j の表裏だけが切り替わる境界を考える
 - $v' = F_i \times F_j$ (外積) から見た方向が境界
 - $v' = F_{i'} \times F_{j'}$ と境界が同じになる (i', j') が複数(m 個)あった場合
 - m 個の各面の法線は v' に垂直
 - 法線を v' からの角度順にソートすると表になる部分は区間になるので $O(m^2)$ 通り試せばOK



想定解 $O(N^3)$

1. 3次元凸包 P を求める ($O(N^4)$ かけてもよい)

2. あり得る f_i の組を列挙する

(a) $v' = F_i \times F_j$ を列挙する

(b) 同じ v' になる面 F_{i_1}, \dots, F_{i_m} を法線について

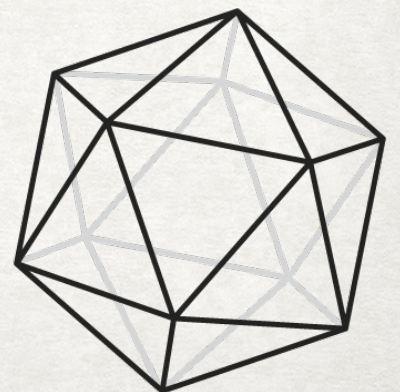
v' からの角度順ソートにすると

表になる面は区間になる

(関係のない面の f_i は v' から見たときのまま)

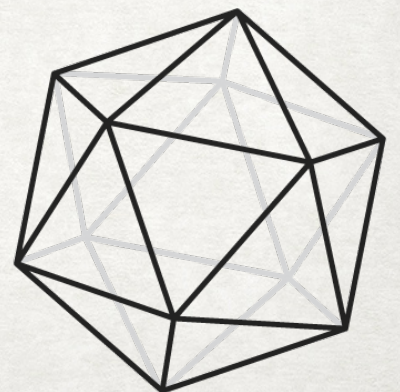
3. 各 f_i の組に対して最適な v をとれば面積 S は

$$S = \frac{1}{2} \left| \sum_i f_i \mathbf{n}_i \right| \text{ となるので解を更新する}$$



計算量に関する注意

- 3次元凸包の面数 M はオイラーの多面体定理より $O(N)$
- $N \leq 60$ のとき $M \leq 116$



誤差に関する注意

- 最後の出力の手前まで整数で処理できる

